

(B) DMFRO ケーブル

これも同じく船舶エンジンのライセンサーである MAN Energy Solution 社による認定を受けた製品です。特筆すべき点として DMFRO タイプは 2018 年にハロゲンフリーに対応出来るタイプとして開発された製品で、火災が起きても煙を発生しにくく、有害物質を発生させないという乗組員の安全を確保出来るケーブルです。最近の欧州市場ではハロゲンフリーは必須条件になりつつありますことはご存じの通りです。もちろんこの DMFRO ケーブルも高温（130°C）に対応可能です。船用として求められる船級については、DNV GL、CCS、LR、NK、BV、ABS*を取得しております。



(C) RNM ケーブル

上記のケーブル、RTFRO、DMFRO の廉価版で特に日本国内向けとして開発されたものです。従って船級は NK*を取得しております。

*船級の名称について

DNV GL	(formerly Det Norske Veritas & Germanischer Lloyd)
ABS	(American Bureau Veritas S.A.)
BV	(Bureau Veritas S.A.)
CCS	(China Classification Society)
LR	(Lloyds Register)
NK	(日本海事検定協会)

3) Habia Cable の主な顧客について

Habia Cable は日本に進出しておよそ 20 年が経過しております。その間、船舶用エンジンを製造している日本企業の多くに販売実績を持ち、そのほかにも通信関係、計測器関係、発電関係などに関連した日本企業の皆様に同社のケーブルを提供させて頂いております。ご存じのようにフッ素樹脂（テフロン）被膜ケーブルを製造しているメーカーは日本国内、欧米にもいくつかございますが、それらと競合して皆様にケーブルを提供している事で、Habia Cable の品質の高さ、価格競争力、等の優れた点が証明されているのではないかと自負しております。